

「人の感動に、貪欲。」をコンセプトに、さまざまな企業のイベントプロデュースを行うBackbone社のプロジェクトの裏側をお伝えする「BACKBONEDetails」。第7回目となる今回からは、格闘技イベントの企画・運営・主催を手がけるRIZIN事務局（株式会社ドリームファクトリーワールドワイド）をお迎えし、2023年から2024年にかけてBackbone社がお手伝いさせていただいたイベントおよび記者会見について振り返る、全4本のシリーズの第2回目です。本記事では、前回ご紹介した2023年の年末に開催された「U-NEXT presents 雷祭り」のメイン開場実施された「にゃんこ大戦争 presents RIZIN.45」の開催に向けて実施した記者会見のプロデュースの裏側を振り返ります。



© RIZIN FF

### 不特定多数の人の目に触れる 屋外での記者会見

2023年12月10日に実施した「RIZIN.45 追加対戦カード発表」の記者会見は、RIZIN事務局さんからご依頼いただいた最初の仕事でした。Backbone社は、会場の確保からセキュリティ面を含めた全体の運営管理を担当させていただきました。

**RIZIN** これまではホテルで実施することがほとんどでしたが、今回は話題性のある記者会見にしたかったんです。僕らのイベントのファンの方ならかならず盛り上がりたただける対戦カードだという確信がありましたし、ファンだけではなく、一般の方々にも注目していただけるようなきっかけをつくりたいと考えていました。会場探しを依頼した際にも、不特定多数の方々の目に触れるような、オープンスペースのような場所で実施したいという思いを伝えさせていただきました。

格闘技の記者会見としてはこういった形式は異例なのでしょうか？

**RIZIN** そうですね。屋外で実施することはこれまでもありました。対戦カードの発表だけでこういった形式の記者会見を開くことはあまりないと思います。屋外での実施にはそれなりのリスクがある上、電源の確保といった細かな点の確認が必要なことはもちろん、



天候にも大きく左右されます。それでも、街を歩いている一般の方にも目に留めてもらう機会をつくりたいなど思っていましたし、世の中をあとと言わせたという気持ちがありました。

### SNSでの拡散を視野に入れた会場選定

本件は特に会場探しに力を入れました。記者会見に登場するのはZ世代を中心に人気の選手ばかりですし、SNSで話題を広げるためにも、渋谷の会場で記者会見を開くのがベストなのではないかと考えたんです。

**RIZIN** 結果的にすごい反響がありましたね。普段僕らが実施する記者会見でも2〜7万人くらいの方がライブ視聴されるんですが、今回は最大20万人の同時接続数を記録することができました。メディアの方々にも取り上げていただきましたし、会場に来たファンの方々が撮影した写真や動画が拡散し、注目を集めることができました。

一方で、当日は実際にどれくらいの方が集まるかが予測できない難しさもありましたね。会場入りする選手の姿を見られてしまうと発表内容のネタバレになってしまいますし、ファンの方たちで混雑してしまうことが予想されたので、警備体制の確保やお客様の誘導、交通整理にもご協力いただき助かりました。

同時に、メディアの記者の方々が集まりやすく、撮影しやすい会場計画にも心がけました。まずはメディアの方々記者会見を取り上げてもらい、できるだけ多くの方に知ってもらおうことで、当日の来場者数の増加につなげたいという思いで取り組みました。

**RIZIN** 企画から実施までのスケジュールがかなりぎりぎりでしたが、対応いただき感謝しています。ありがたいことに当日は1,000人以上の方に足を運んでいただき、来場者で会場がごった返すほど盛り上がったので、大成功だったと思います。

3本目となる今回は、2024年に3度おこなわれた記者会見のプロデュース裏側をご紹介します。

